7月号
八郷町役場

人口と戸数（7月末）

世帯数		5,738
人口	男	16,175
	女	16,895
	計	33,070

今年こそ町税の完納を達成しよう

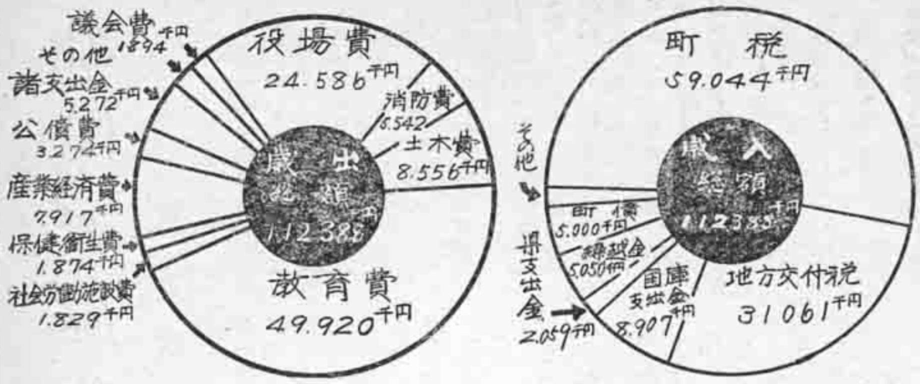
いよいよ本格的な暑さになりました。この分では今年の稲作も豊作が予想され、秋が楽しみですが、皆さま時節がらますますもつて健康才一にお願いいたします。さて、わが町の納税成績は、一昨年は七九％昨年は八七・四％と、皆さまのご理解とご協力とによりまして、年ごとに向上してまいりますことは、町発展のあきらかな証こでありまして、誠によろこばしい次才です。**今年のわが町の歳入予算は**一般会計において、総額一億一千二百三十八万余円で、その内五二・五％に当る五千九百四万余円を町税に期待しており、国保特別会計では、総額二千百二十六万余円中、その六七％に当る一千四百四十四万円余を保険税に期待しております。又昨年度における**本町滞納整理の成績**は普通税は、滞納総額一千七百五十万円中、八百四十六万円を整理、国民健康保険税は、五百四十七万円中、百七十万円を整理いたしましたが、六月一日現在においてまだ二千一百万円を残しております。

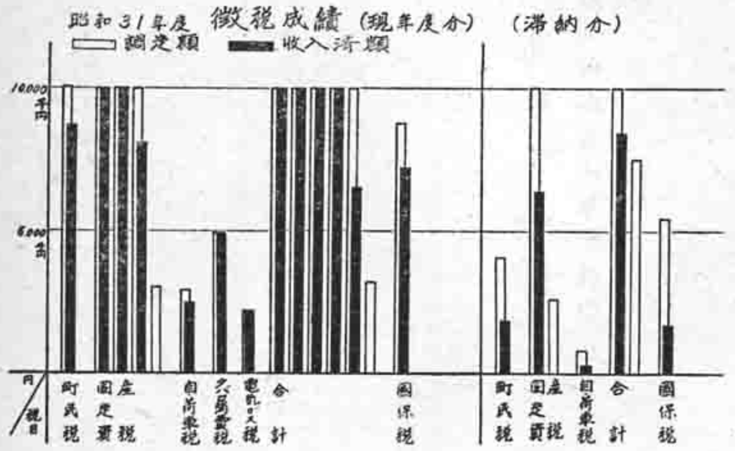
この町税の納税成績の如何が、今年の町の重要施策である八郷高校建設計画才二年次の実行、小幡統合小学校の建築、道路や橋の整備、農村振興施策の実行、消防施設の整備、保健衛生の改善等の遂行に大きな関係をもつものであることは、申し上ぐるまでもありません。

元来町村の事業は、住民の公正な税負担により、その財政力に応じて実施さるべきものでありまして、町内において**野放図に寄附行爲の行はれることは好ましくありません**。町内各種団体でも時々寄附募集が計画されますが、寄附募金などについては、県條例で制限されてもおり（五万円以上を募集する場合は知事の許可がいる）町議会においても寄附行為は積極的に制限すべしとの意向もありますので、納税に影響を及ぼす如き寄附募集は極力これを慎しみ、まず納税才一で進みたいと思います。只今当町で計画実施中の各種建設事業についても、私は寄附の要請は一切いたさず、当然の税収入にのみ期待いたしております。従つて徴税にあたつては、あくまで峻厳なる態度で、強い処置にでていることもご了承いただきたいと思います。

町建設才三年目である今年こそは、町民皆さまの力強いご協力のもと、町の徴税機能の全力を尽して、**納税成績　一〇〇％**を実現いたしたいと念願いたしております。又滞納税金はどうしてもうやむやに出来るものではありませんので、今年も断乎として整理を継続する方針でありますから、滞納をもつておられる方々は、おのおの自主的に整理計画をたてて、一日も早く完納して下さるようお願いいたします。（町長）

八郷町の今年の予算





湯袋温水ダム

間もなく完成

湯袋温水ダム工事は、小幡芦穂土地改良区（理事長桜井嘉幸氏）の水田七十五町歩の用水源として、工事が進められているが、さしもの難工事も、組合員一致の努力で、間もなく完成しようとしている。

☆　☆

☆　☆

写真は、完成間近いダム工事現場　❶は間もなく水底に埋する部分　❷余水吐き　❸えん堤

青年キャンプ講習会

八郷町教育委員会では、八月十三、十四、十五日の三日間、青年指導者のキャンプ講習会を湯袋高原で行う。

改正農委法による

農協推せん委員などきまる

町では改正農業委員会法による農協推せん委員を、七月二十三日附次のとおり選任した。

柿岡農協	理　事	平　　忠
小幡〃	組合長	関野　信平
芦穂〃	組合長	高橋　栄
恋瀬〃	理　事	友部　三男
瓦会〃	〃	石田篤四郎
園部〃	組合長	鈴木　幸七
林　〃	組合長	市塚　大喜
小桜〃	組合長	岡崎格之輔

なお、農業共済組合より推せんする委員は、同組合理事の友部太左エ門氏が留任した。

県農業会議
一号会議員は滑川好道氏

町農業委員会は、七月二十五日委員会をひらき

①選任委員の報告
②議席の変更
③一号会議員の指名

の三議案を上提。県農業会議におくる会議員として滑川好道氏を指名した。

新型防除機

八台、町で購入

主要農作物の病害虫防除の徹底と、水稲保温折衷苗代の普及増加による防除態勢の强化のため、三十年より引つゞき新型動力防除機具八台を町費で購入し、機動性を持たせるため八郷地区農業改良相談所で管理し、各地区防除隊の需要に応じているので、病害虫防除上、大いに活躍している。

利用したい防除隊は、早目に相談所に申込まれたい。（経済課）

この頃出来た二つの橋

板敷橋（大増）

長さ	二・三米
はば	八・五米
橋台	練石積
上部	鉄筋コンクリート
工費	七四、〇〇〇円

水口橋（瓦谷）

長さ	三・四米（斜）
巾員	三・〇米
橋台	練石積
上部	鉄筋コンクリート
工費	六一、〇〇〇円

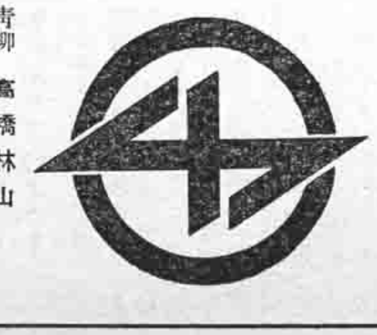
まむしにかまれたら、すぐ医者へ、そして警察にも連絡しましょう。

訂　正

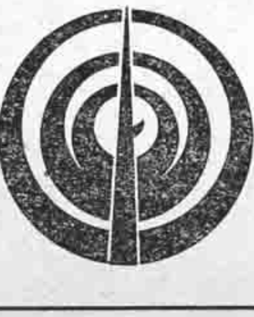
八郷広報二〇号二ページ「町道に入れた砕石」記事中トラック七三〇台は、一八八〇台と訂正します。

町章入賞作品

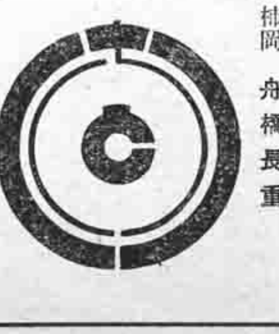
さきに募集した町章の審査を、県教育庁の塩川一雄先生におねがいして選考していただいた結果、次の三点が入賞いたしましたが、町章として採用する作品はありませんでした。



片野　関　浩太郎



青柳　髙橋林山



柿岡　舟橋長重

健康家庭の表彰など

国保運営協議会できまる

国民健康保険運営協議会は七月二十日午後二時より、委員十二名と、町長・助役・課長・係員が出席してひらき、次の事項を審議した。

一、報告承認事項

❶昭和三十一年度国民健康保険の概況。

❷国民健康保険条例の改正。（前号でお知らせした事項）

❸昭和三十二年度国民健康保険歳入歳出予算。

❹昭和三十二年度直営診療所歳入歳出予算。

❺園部診療所の廃止。

❻旧林村診療所の払下げ。

以上を報告、承認の後、次のような協議をした。

二、協議事項

❶事務機構の改善について。

課員十一名を適材適所に配し、事務の高率化をはかり企画体制を確立する。

❷趣旨普及の徹底について。

あらゆる機会を利用し、また部落懇談会・幻灯会・映画講演会等を開いて、趣旨の徹底をはかる。

❸保険施設の強化充実について。

各支所駐在の保健婦によって家庭訪問による徹底した保健指導と、予防施策を実施する。

❹健全財政の確立について。

保険税の完納を期し、滞納分は徹底的に徴収する。

❺健康家庭の表彰について。

年間を通じ健康であった家庭を表彰する新らしい表彰制度をつくる。

ことなどを協議、保健施設を中心とした発展策が進められることとなった。

学童の眼疾を一掃

町の国保が夏休みを利用して

四月中に眼科校医（石岡協同病院眼科医長）により、小中学生六八五〇名の眼の検診を行ったところ、五四九名という驚くべき患者がおるのを発見したので、町の国保は保健婦に洗眼を実施させ、七月十九日再検診したところ、一三一名はなおったが、まだ次のような患者があるので、夏休み中にすっかりなおして、新学期からはハッキリした眼清々した頭で勉強に、運動にはげむことができるようにしたいと、七月下旬各地区で保護者の懇談会を開いた。

○再検診後の患者数

トラコーマ　二六八
結膜炎　四六
まつ毛内反　七九
眼瞼炎　二一
春季カタル　二
結膜乾燥症　二

○治療方法

①手術は八月上旬に行う。

②洗眼をつゞける患者は日割をきめ、支所の健康相談室で保健婦が行う。

③九月上旬に才三回の検診を行う。

④家族の検診を行い、治療をすすめる。

（保険課）

八月の納税
町民税　二期

ほのおの中に花一輪

交換嬢八重子さんが表彰

去る六月十四日、柿岡新宿の火災の際、柿岡郵便局の電話交換手＝高橋八重子さん（役場前みなとや高橋一夫さんの妹）は、つぎの表彰状のようなはたらきをして賞讃されている。

表彰状

柿岡郵便局
事務員　高橋八重子

あなたは昭和三十二年六月十四日早暁、柿岡郵便局の類焼に際し、いち早く現場にかけつけ、身の危険を省みず、消防機関ならびに加入者等へ緊急連絡をして被害を最少限に止めさせただけでなく、身近まで延焼してきたにもかかわらず、交換事務に従事してその職責を果した功労はまことに大きいので、郵政省表彰規程により金一封を贈呈してこれを表彰いたします

昭和三十二年七月二十七日
東京郵政局長　福島安雄

小・中学生の寄生虫驅除

五月末から六月にかけて、小・中学校生徒の寄生虫検査を実施したところ、五〇%以上の生徒が寄生虫をもっていることがわかった。特に十二指腸虫の虫をもっている者は五四%もあるので、町では学校と相談の上、夏休み中に十二指腸虫完全駆虫をしてしまいたい計画ですので、保護者各位の御協力を願います。

十二指腸虫の駆虫薬は、必ず医師の立会の上服用すること、薬価の実費として一人三五～五五円程いただきます。

パラチオンなど使用上の注意

パラチオンなど有機燐製剤を撒布した水田には、次の事項をきびしく実行していただきたい。

❶必ず撒布期日・立入禁止期間を明示した木札又は厚紙赤札、若しくはこれに準ずる公示を行うこと。

❷撒布して一週間を経過後には、必ず公示物を取り除くこと。

（経済課）

県民体育祭新治郡大会
八月十八日午前八時半より
柿岡で開催されます。

八郷球友クラブ

新治郡代表として県大会へ

八郷球友クラブ（責任者浅野光一氏）は、市町村対抗郡予選で、強敵出島タイフーンズを8－6、仝藤沢を14－2で破り、新治郡代表として八月四日よりの県大会に出場する。監督以下メンバー次の通り

監督（内野手）中島仁平（芦穂）　主将（内野手）大山寛（林）　投手上田久（林）　仝　内田猛（柿岡）　捕手園部治彦（林）　仝上倉忠（柿岡）　内野手市塚良訓（林）　仝久保田長男（柿岡）　仝　倉持輝彦（林）　外野手　藤岡一之（林）　仝　小沢良弼（柿岡）　仝中島博光（芦穂）　仝　菊地博（芦穂）

イモチ病を出すな

今年は幸い葉イモチ病は少いようです。……と言っても決して楽観は出来ません。葉イモチの発生が例年よりおくれて最近（七月下旬）になってかなりの範囲に発病を見るに至りました。今後高温が続けば一時は抑へられますが、出穂期までの日数が短いことゝ肥料が相当施されていることから穂首イモチ病の誘発が考えられますので、今軽いからと云って油断することなく、ボルドー液又はセレサン石灰などを撒布して、胞子の飛散を出来るだけ抑圧して下さい。

穂首イモチ病はイモチの中で最も被害が激しく、この病気にかゝると収穫皆無となることさえあります。又かかってからでは手の施しようがありませんから、次の方法で予防して下さい

撒布時期
才一回＝出穂二～三日前
才二回＝穂揃期

使用薬剤
八斗式三倍量ボルドー液（反当一石）
セレサン石灰又はクオゲンダスト（反当三～四瓩）

〔改良相談所〕

消防ポンプ（動力）八台購入

町では、消防団の統合整備計画にもとづき、近代装備に改編して人件費の節減を図り、消火施設の強化充実を期するため、このほど本年度計画の可搬式消防ポンプ（一五馬力）八台を二百五十万円で購入し、左記分団にそれぞれ配属した。これで動力ポンプは、合計三十四台となった。

小桜地区団才二分団（川又）
林 地区団 才二分団（下林）
園部地区団才一分団（宿山崎）
瓦会地区団才二分団（上宿）
芦穂地区団才五分団（上山）
同　才八分団（鯨岡）
小幡地区団才四分団（下宿）
柿岡地区団才二分団（内宿）

農機具実演展示会

優良農機具の実演展示会が次のように行われるので、見学をおすすめします。尚当日は農事試験場の参観もできます。

期日＝八日十三日～十五日
場所＝水戸 下市 浜田小学校

水稲早期栽培の実態

保温折衷苗代による水稲の早期栽培が、労力の配分がうまくいくことと、昨年度においても反当り二斗～四斗の増収があった事などから、今年は急に普及増加したが、町の実態はつぎのとおり。

（経済課）

今年の水稲早期栽培の状況

区分	水稲反別	早期栽培		昨年の早植
		面積	比率	
	反	反	%	反
柿岡	2329	373	16・0	18
小幡	2920	698	23・9	150
芦穂	2901	337	11・6	12
恋瀬	2464	256	14・3	16
瓦会	2443	502	20・5	20
園部	2482	502	20・2	40
林	2648	865	32・7	110
小桜	2907	1193	40・8	265
計	21094	4577	21・7	631

日本脳炎の予防

日本脳炎の流行期になりました。この恐しい伝染病にかゝらないために、つぎのことを必ず守りましょう。

○蚊の発生防止・駆除をすること。

○子供を炎天下で遊ばせぬこと。

○予防接種をすること。
（予防接種の費用は、一人七〇円位）

モデル部落のようす

環境衛生モデル部落として県より指定された小倉・小屋川又・太田の四部落では、**はえとか**をなくすることに全力をあげて努力しているが、小倉・太田両部落では各戸便所のフタを作り、手洗器を備付けた。川又・小倉両部落では一せい検便をやり、多数の寄生虫保有者が検出された。太田・下林の二部落でも近日中に部落の一せい検便を計画している。

（厚生課）

古紫蘇の塩から／＼に梅むしろ